

平成30年 4月27日

電力広域的運営推進機関

再生可能エネルギー発電設備の出力抑制に関する検証結果の 公表について

九州電力株式会社が平成30年3月に実施した、種子島、壱岐、及び徳之島における再生可能エネルギー発電設備の出力抑制について、当機関は、業務規程第180条第2項に基づき、出力抑制に関する給電指令の妥当性を検証したので、下記のとおり、その結果を公表いたします。

記

1. 抑制実施日とエリア

3月 1日（木）種子島	3月25日（日）種子島
3月 6日（火）種子島	3月26日（月）種子島
3月 9日（金）種子島	3月27日（火）種子島
3月10日（土）種子島	3月28日（水）種子島
3月11日（日）種子島	3月29日（木）種子島
3月12日（月）種子島	3月30日（金）種子島
3月13日（火）種子島	3月31日（土）種子島
3月14日（水）種子島	3月24日（土）壱岐
3月17日（土）種子島	3月30日（金）壱岐
3月22日（木）種子島	3月31日（土）壱岐
3月23日（金）種子島	3月24日（土）徳之島
3月24日（土）種子島	3月25日（日）徳之島

2. 検証内容

- ①抑制指令を行った時点で予測した離島の需給状況
- ②下げ調整力確保の具体的内容
- ③再エネの出力抑制を行う必要性

3. 検証結果

検証内容の①～③それぞれの項目について検証した結果、下げ調整力不足が見込まれたため行われた、今回の出力抑制の指令は、適切であると判断する。

4. 添付資料

再生可能エネルギー発電設備の出力抑制の検証結果
～平成30年3月 九州電力～

以上